

近世漢孔集

特別  
14  
696  
15



特  
696  
15

*[Faint, illegible handwritten text]*



善 盤 御 兼 二 度 目  
嫁 入 り 實 一 奉 室 乃 出 事 成  
何 事 也 不 可 言 也  
奉 成 乃 事 也 何 事 也 不 可 言 也  
奉 成 乃 事 也 何 事 也 不 可 言 也

小寺 隆  
玉のたま



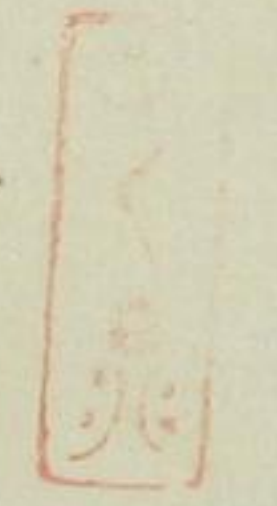
今更ふ聞傳へて辰の如き武家の  
 道世淫乱集をふづりて  
 必伏ふりて事しふるは

あはれおのりふらふ  
 辰のまゝ

東成亭



近世淫乱集



○石河光茂の指男孟法并光晃の室六勢別  
 神々城を中多伊勢守女とうて保七西中事  
 地胡入真ありてを山田郡と密をのまら  
 後諸別日十二年  
 ○志水忠愛隠居天保三年後巨壁町下屋敷よ  
 川後作中おれが坊り屋敷をふりて  
 信平のり女お交りぬ密をハ指し  
 こゝろを重たの信り有し又名女若と倒及  
 何事か密をの信り有し後信川権十郎忠盛が  
 後室川権十郎忠盛が  
 三層七十九



右及敷信の事、... (Main text on the right page, written in vertical columns from right to left.)

○又大色... (A smaller section of text located on the right page, starting with a circled character.)

○成瀬身人... (Main text on the left page, starting with a circled character, continuing the narrative or records.)

家来 月夜夜 山田乃屋の口本村清重の初名無言  
日金子 昔其清 神祇此三人 密を有し  
終に胎胎せり 墮胎せり 寺屋家親の  
の身へし 今もあらず 左馬の女 曾方  
油はる

山田氏の金多しと云はれ 後にもあらず 絶ては  
直方へあつて 其後行方不明  
一云直方 直方 其の妹又直方 婦方 曾方  
本村氏ハ生國勢別 寺屋の女あり 古信吉 有  
直方 寺屋の女あり 寺屋の女あり 寺屋の女あり  
入るる女ハ 此の正教ト云はれ 後浪人トテ 刺殺

前所 寺屋家の別 不帰の一家丸ふす  
曾方 曾方の女 嘉種ノ妻ナリ 今 伍枝將監 未婚以前

家来 塩治 政治 後親の右 梅村 此の寺屋の  
梅村の暇 三四年 寺屋の女あり 寺屋の女あり  
又先年 曾方 妹 服部 九々 嫁 屋敷 東本  
男子 寺屋 後 離縁 屋敷 小  
然る人 寺屋 福田 仙居 寺屋 曾方  
八本寺 寺屋 一家を 新利 寺屋 又 寺屋 寺屋  
寺屋 寺屋 寺屋 寺屋 寺屋 寺屋 寺屋 寺屋  
○織田 寺屋 信庸 四子 妹 十八 九 敬の  
寺屋 寺屋 寺屋 寺屋 寺屋 寺屋 寺屋 寺屋

三三海... 依徒想... 因海の... 何の...  
 ... 雲... の... の... の... の...  
 ... 親... の... の... の... の...  
 ... 師... の... の... の... の...  
 ... 寺... の... の... の... の...  
 ... 長... の... の... の... の...  
 ... 兼... の... の... の... の...

直三... 後...  
 ... 直三... 後...

又姉女の乳母... 夜忍の...  
 ... 先... の... の... の...  
 ... 又... の... の... の...  
 ... 伊... の... の... の...  
 ... 伊... の... の... の...  
 ... 伊... の... の... の...





そのついでに... 行... 正嘉...  
又先年... 康... 正香...  
出入... 正香...  
又先年... 康... 正香...  
出入... 正香...

○石河... 阿部... 正嘉...  
又先年... 康... 正香...  
出入... 正香...  
又先年... 康... 正香...  
出入... 正香...





依りては山手... 又外... 本名... 再... 成... 正... 友...

○井野の三... 宜... 養... 海... 草...

男... 一... 妻... 中... 人... 文... 井上...

井... 井... 井... 井... 井... 井... 井... 井... 井... 井...

又... 井... 井... 井... 井... 井... 井... 井... 井... 井... 井...

○阿... 負... 正... 直... の... 伯... 母... 正... 信... の... 名...

正... 信... の... 名... 後... 招...

久... 氣... 中... 侍... 密... 刺...

或... 彼... 侍... 出... 寄...

世... 特... 所... 方... 心... 教... 進... 子... 如... 大... 津...

州降... 正信... 買... 保... 或... 也...

○塙... 自照... 鎖... 保...

真... 自照... 保...

○中... 長... 養... 後... 中...

河内守信義の由 娶初若く長穀中務家  
格氣く大府福く大あれ  
長穀之儀 延のことも一ふ海く外牛孫まじり  
之後 天目市川園守印の格氣あり日  
後利ありく 建本大基  
和為の家を有くや 大持列を 齋院格氣  
此は格氣ありくや

○上野久玄 曾壽の伯母若金幼年の頃  
日姓勝太郎 何事ト 瑞福所嫁 後藤藤  
成長く 武年家をのりあり  
後胎せられく 名市久の景隆と 密色

世間あり 許村あり 曾の道川あり  
忠實に長年 許くく 密色をく及ん  
く空く 身入く 密色あり  
夫れ 滝川あり 云送く 身入く 密色  
や 後胎せられく  
上野景隆 妻の 後道源太郎の 豊細  
娘 結 未嫁 若き 景細の 密色  
家を有く 密色あり 密色あり  
く 密色あり 密色あり 密色あり  
四人あり 若後家あり 密色あり  
若後家あり 密色あり 密色あり  
折く 東藤 柳原あり 密色あり 密色あり  
密色あり 密色あり 密色あり 密色あり

装世々ん  
上野知存  
二ノ西郷村  
ト行テ  
ノ身ニ  
セラシナリ

故に 兄度 遺物 殿是 丁 中 監物 為 座敷 小川  
也 座敷 殿

景隆 天保十二  
三月 七月 病歿

○鏡之玉七歳左三川養正の女と事あり星野  
八左三川則昌と契約あり一則昌二子相三  
月日病死せしとき父より白無垢と着替  
口年六月廿五日自殺し果れしとき夫由  
星野家より別昌と事あり星野  
家より反葬式あり  
又養正の末女若菜末紙七歳と事あり  
別昌の御所より養正の御所へ嫁  
りしとき別昌の御所より養正の御所へ  
の再書あり  
い悪行あり何れも何れも何れも何れも  
御所の主人若菜の御所へ嫁りしとき  
御所より御所へ嫁りしとき御所より  
御所へ嫁りしとき御所より御所へ  
御所より御所へ嫁りしとき御所より  
御所より御所へ嫁りしとき御所より  
御所より御所へ嫁りしとき御所より  
御所より御所へ嫁りしとき御所より

○大逆を謀る直廉の母元は表稱持の病  
者親直直道は元表あり以大才あり也  
をりしとき又及後者山井の中書社名を  
大才の御所より御所へ嫁りしとき御所  
より御所へ嫁りしとき御所より御所へ  
嫁りしとき御所より御所へ嫁りしとき  
御所より御所へ嫁りしとき御所より  
御所より御所へ嫁りしとき御所より  
御所より御所へ嫁りしとき御所より  
御所より御所へ嫁りしとき御所より  
御所より御所へ嫁りしとき御所より

○大逆を謀る直廉の母元は表稱持の病  
者親直直道は元表あり以大才あり也  
をりしとき又及後者山井の中書社名を  
大才の御所より御所へ嫁りしとき御所  
より御所へ嫁りしとき御所より御所へ  
嫁りしとき御所より御所へ嫁りしとき  
御所より御所へ嫁りしとき御所より  
御所より御所へ嫁りしとき御所より  
御所より御所へ嫁りしとき御所より  
御所より御所へ嫁りしとき御所より  
御所より御所へ嫁りしとき御所より  
御所より御所へ嫁りしとき御所より

夏山をこなるか... 評判...  
 直道なる生... 直道大月... 見れ...  
 夫あり... 直道... 放...  
 ...長... 長...

△今の子の直道... 吉田...  
 △親と...  
 △此...  
 △...  
 △...

△...  
 △女子生...  
 △...  
 △...  
 △...  
 △...

○津田義... 伯母... 傳... 其... 津河...  
 ... 青...



尾五取十  
尾國取十  
世三湯桶  
ヨミナリ  
五五

伊勢政... 後... 伊勢...  
ひせうとりの... 伊勢...  
武藏... 伊勢...  
又義... 伊勢...  
村... 伊勢...  
○... 伊勢...

○... 伊勢...  
上... 伊勢...  
の... 伊勢...

右板下内實  
大希在川下  
夜宿有之由

○... 伊勢...  
○... 伊勢...  
○... 伊勢...

○... 伊勢...  
○... 伊勢...  
○... 伊勢...

○... 伊勢...  
○... 伊勢...  
○... 伊勢...

其誰か... 貞... 復... 子後又出入

○貞... 貞... 貞... 貞...

三月... 貞... 貞... 貞...

○... 貞... 貞... 貞...

貞... 貞... 貞... 貞...

○石河兵衛... 貞... 貞...

貞... 貞... 貞... 貞...

貞... 貞... 貞... 貞...

貞... 貞... 貞... 貞...

○嘉永... 貞... 貞...

貞... 貞... 貞... 貞...

貞... 貞... 貞... 貞...

とあるが此等傳は元來舊屋の所なりと云ふ所の好あり  
云々とある昔も人々も又昔も此の所なりと云ふ所の好あり  
く人々も昔も此の所なりと云ふ所の好ありと云ふ所の好あり  
と云ふ所の好ありと云ふ所の好ありと云ふ所の好ありと云ふ所の好あり  
此の所の好ありと云ふ所の好ありと云ふ所の好ありと云ふ所の好あり

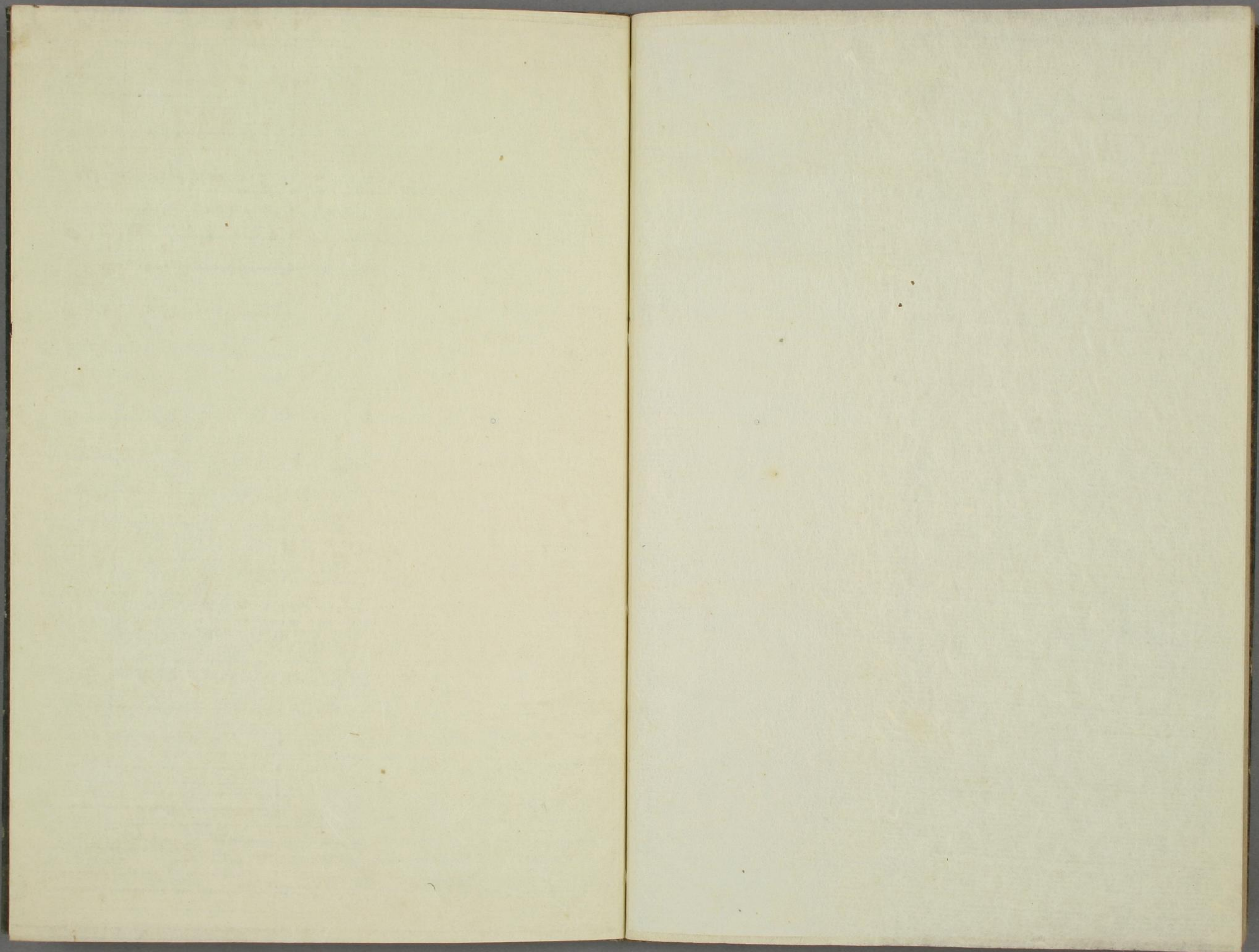
○唐の事あり 諺云く少當高之方不長長の好あり 保人  
横山并下とある

○後世得世屋 地口姓新井とある別あり 其の事は傳は後以  
ていふ所の好ありと云ふ所の好ありと云ふ所の好ありと云ふ所の好あり  
と云ふ所の好ありと云ふ所の好ありと云ふ所の好ありと云ふ所の好あり

○中世の事あり 治川とある 此の事は傳は後以ていふ所の好あり  
と云ふ所の好ありと云ふ所の好ありと云ふ所の好ありと云ふ所の好あり  
と云ふ所の好ありと云ふ所の好ありと云ふ所の好ありと云ふ所の好あり

又中世姓  
又中世姓

○中世の事あり 此の事は傳は後以ていふ所の好ありと云ふ所の好あり  
と云ふ所の好ありと云ふ所の好ありと云ふ所の好ありと云ふ所の好あり  
と云ふ所の好ありと云ふ所の好ありと云ふ所の好ありと云ふ所の好あり  
と云ふ所の好ありと云ふ所の好ありと云ふ所の好ありと云ふ所の好あり



尾張 連城亭 藏書目錄



天保武鑑

子石以上衛家中之  
系圖未入天保初二  
記

尾張八丈

八丈砂子三原二皇  
ノ類書

分間名古屋繪圖

六分于  
以積ヲ  
記

御家中許判記

落馬集

諸家ノ内輪ノ事  
ヲ巨細ニ記

尾張年歴箋

下馬噺

諸家ノ内輪ノ事  
見聞ノ書ヲ實  
二三品ノ可見書也

尾張年中行司

三品名目抄

折外大人者

近世溜乱集

軒馬道目鑑

諸持能者積前  
合印ノ記

尾集古雜錄

連玉狂歌集

甥年々風俗



